

第2次豊橋市地球温暖化対策 地域推進計画の策定方針

目次

1. 計画策定の基本的な考え方	
(1) 計画策定の目的.....	1
(2) 計画の位置づけ.....	1
(3) 計画の対象とする温室効果ガス.....	2
(4) 計画の期間.....	2
2. 計画策定の実施方針	
(1) 計画策定フロー.....	3
(2) 検討体制.....	4
3. 計画策定スケジュール（予定）.....	5

令和元年10月3日

豊橋市

1. 計画策定の基本的な考え方

(1) 計画策定の目的

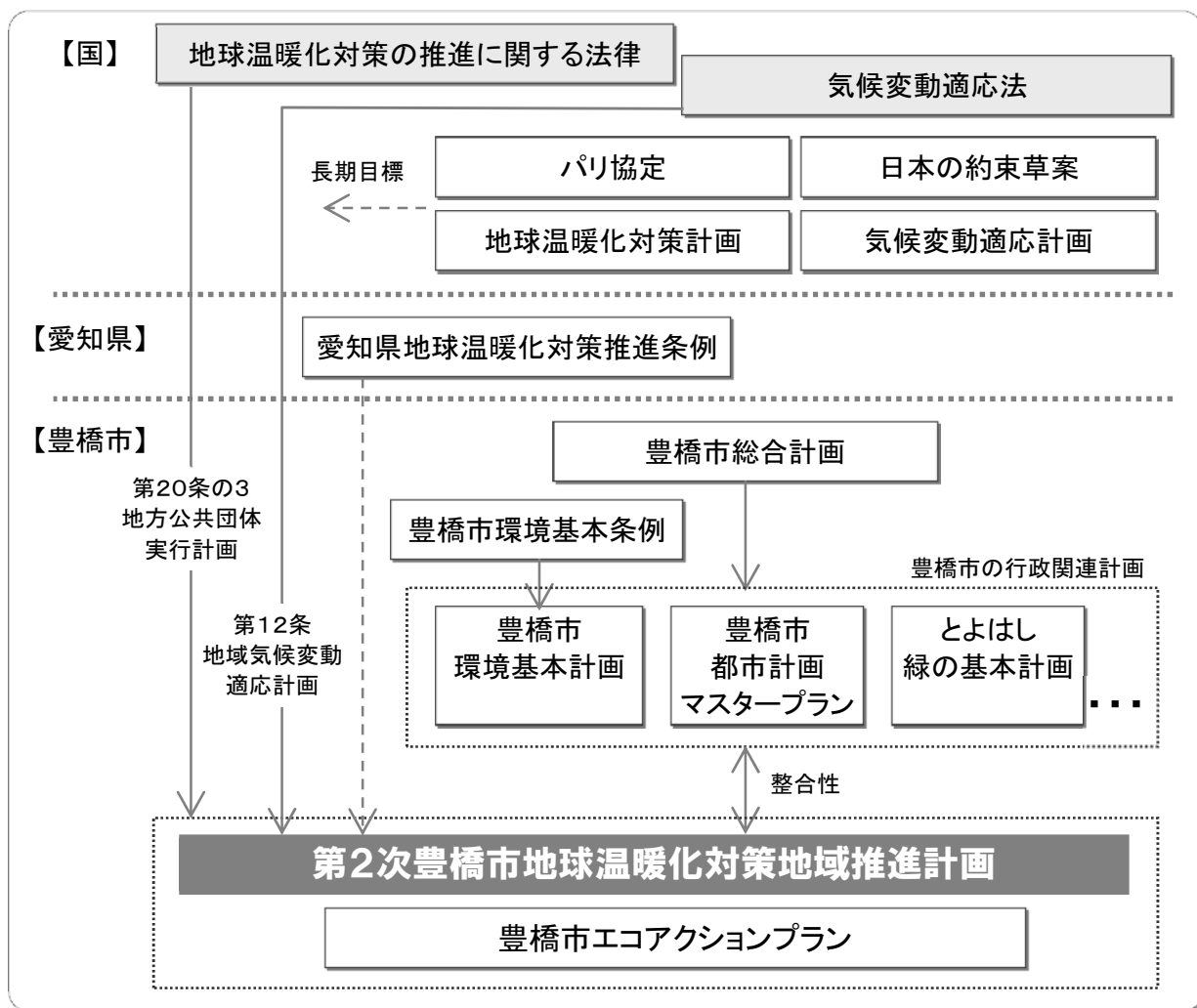
豊橋市においては、平成 21 年度に「豊橋市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、地球温暖化対策を実施してきましたが、本市が署名した「世界首長誓約/日本」の誓約実現に向けて、現況を踏まえた地球温暖化対策の推進が引き続き求められています。

そこで本業務では、温室効果ガスの排出抑制に関する緩和策及び気候変動に対処するための適応策を中長期的に推進する実行計画を策定することを目的として策定します。

(2) 計画の位置付け

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3に基づく地方公共団体実行計画であり、パリ協定や「日本の約束草案」等を勘案し、豊橋市の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の抑制等を総合的かつ計画的に進めるための施策を策定するものです。

また、「気候変動適応法」第 12 条に基づく地域気候変動適応計画として位置付け、気候変動適応に関する施策の推進を図るものです。



(3) 計画の対象とする温室効果ガス

豊橋市から排出される温室効果ガス排出量の算定とする温室効果ガスは、地球温暖化対策推進法で対象としている以下の7種類のガスとします。

表 対象とする温室効果ガス

温室効果ガス		概要
二酸化炭素(CO ₂)		化石燃料の燃焼に伴い発生するもの。
メタン(CH ₄)		水田や廃棄物の埋立て、家畜の腸内発酵などから発生するもの。
一酸化二窒素(N ₂ O)		化石燃料の燃焼や廃棄物・農業活動などから発生するもの。
代替フロン等4ガス	ハイドロフルオロカーボン(HFC)	スプレー、冷蔵庫・エアコンの冷媒や半導体洗浄などに使用されるもの。オゾン層を破壊しないが、強力な温室効果がある。
	パーフルオロカーボン(PFC)	主に半導体洗浄に使用されるもの。強力な温室効果がある。
	六フッ化硫黄(SF ₆)	主に電気絶縁ガスとして使用されるもの。強力な温室効果がある。
	三ふっ化窒素(NF ₃)	NF ₃ の製造、半導体素子等の製造に伴い発生するもの。強力な温室効果がある。

(4) 計画の期間

計画の期間は令和3年度から令和12年度の10年間とし、期間内に目標年を設定し、取り組みます。

基準年は、日本の約束草案に準じて2013年度とし、現況年は最新の統計情報に基づいて温室効果ガス排出量の算定が可能な2017年度とします。

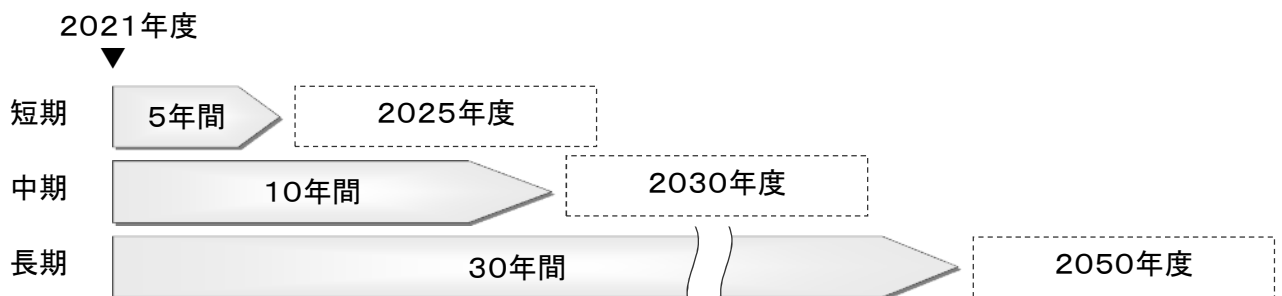
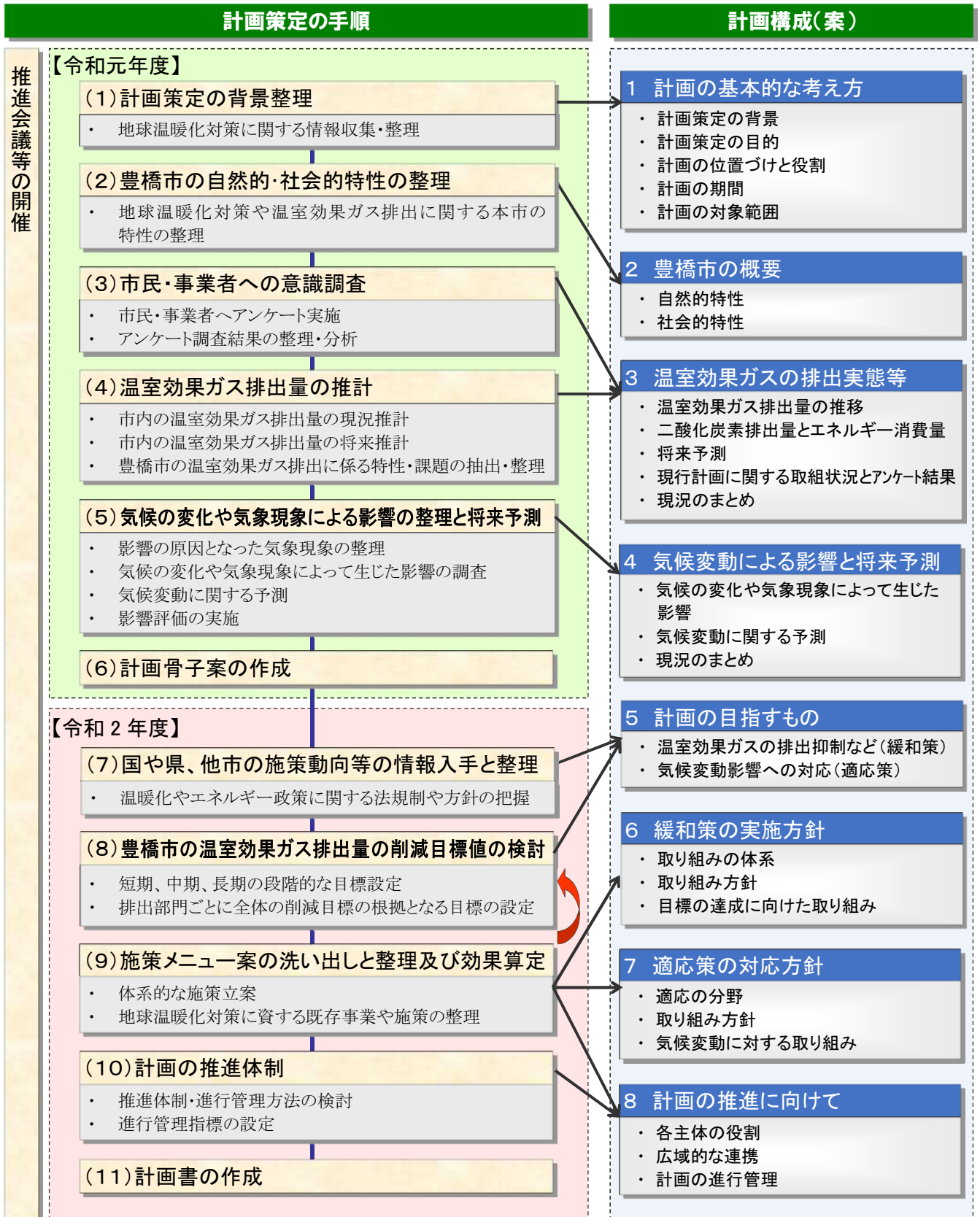


図 目標年(案)

2. 計画策定の実施方針

(1) 計画策定フロー



(2) 検討体制

1) 計画の検討体制

	推進会議	庁内会議
組織の構成と役割	市民や事業者、環境保全団体等の有志で構成し、計画内容、特に具体的な取組やプロジェクトについて各主体の視点・立場から協議・助言する。	庁内各課の担当者が集い、施策・事業等について実施担当課の立場から責任もって検討し、計画内容の庁内合意形成・周知を図る。
開催回数	・R1年度 2回 ・R2年度 3回	[予定] ・R1年度 1回 ・R2年度 2回

2) 会議計画

時期	報告・協議内容
第1回 (令和元年) 10月3日	・現行計画の進捗状況の報告(H28年度 GHG 排出量) ・本計画の策定方針について説明、協力依頼
第2回 (令和2年) 1月下旬	・現行計画評価の報告 ・アンケート調査結果の報告 ・計画骨子(基本理念等)の説明、協議
第3回 7月上旬	・目標(案)の報告、協議 ・施策(案)の報告、協議
第4回 12月上旬	・計画素案の報告、協議 (削減目標、施策、推進体制、進行管理指標)
第5回 3月中旬	・パブリックコメントの意見、反映方法の説明、協議

3. 計画策定スケジュール(予定)

実施事項	令和元年度									令和2年度											
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
推進会議の開催日程				● 10/3			●						●					●			●
(1) 計画策定の背景整理		■	■																		
(2) 豊橋市の自然的・社会的特性の整理			■	■																	
(3) 市民・事業者への意識調査			■	■	■																
(4) 温室効果ガス排出量の推計	■	■	■	■	■	■	■	■	■												
(5) 気候の変化や気象現象による影響の整理と将来予測	■	■	■	■	■	■	■	■	■												
(6) 計画骨子案の作成						■	■	■													
(7) 国や県、他市の施策動向等の情報入手と整理								■	■	■	■	■	■	■							
(8) 豊橋市の温室効果ガス排出量の削減目標値の検討									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
(9) 施策メニュー案の洗い出しと整理及び効果算定										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
(10) 計画の推進体制										■	■	■	■	■	■	■	■				
(11) 計画書の作成															■	■	■	■	■	■	■